

子宮がん検診を受けましょう

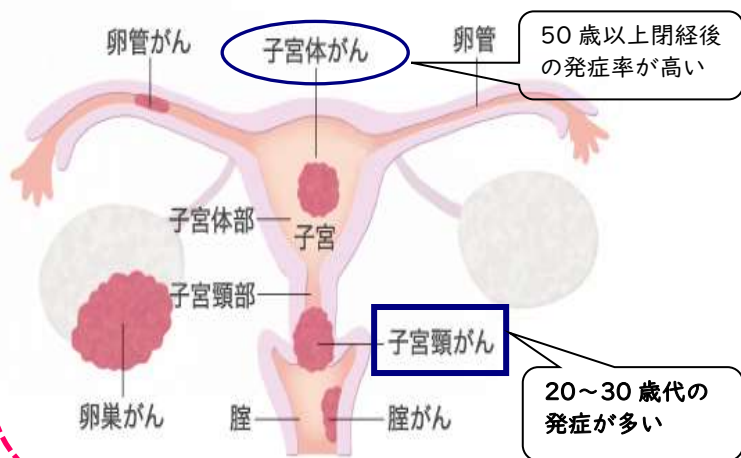
20代からかかる人が増えている“子宮頸がん”

○子宮頸がんは20代女性がかかるがんの第1位。

子宮頸がんになる人は、20代後半から増加し、30・40歳代が最も多くなります。

〈出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計・全国がん登録)〉

子宮頸がんとは…



○子宮がんには大きく分けてふたつあります。

「子宮頸がん」は子宮頸部(子宮の入口付近)に、
「子宮体がん」は子宮の奥に発生するがんです。

○全国では子宮がんにより1年間で約 50,873 人がかかり、
約 7,137 人が亡くなっています。(上皮内がんも含む)

〈出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(厚生労働省人口動態統計・全国がん登録)〉

検診から早期発見、早期治療へ

○子宮頸がん初期は自覚症状がほとんどなく、症状が現れた時には進行していることがあります。

☞ 早期発見には検診受診が大切！

○がんの治療成績を表す指標として用いられる5年生存率。

ステージが早期であるほど、生存率は高くなります。

☞ 早期発見・早期治療へ

子宮頸がんの5年相対生存率
(ステージ別)

I期
93.3%

IV期
25.1%

原因は HPV というウイルスです

喫煙者は発症のリスクが高くなると
言われています



- 主な原因は発がん性HPV(ヒト・パピローマウイルス)への感染です。
- HPVは性交渉の経験があれば誰でも感染する可能性があるウイルスで、女性の約8割が生涯に一度は感染を経験するといわれています。多くの人は免疫の力によって体の中からウイルスを追い出すことができます。しかし、一部のウイルスが身体から消えず、5~10年以上の年月を経て子宮頸がんを発症します。

子宮頸がんは定期的な検診で予防できる！

- HPVは一度排除されても何度も感染してしまいます。
- 毎年定期的に検診を受けることで、がん発症前の「異形成」のうちに発見でき、早期に治療することができます。

受診までの流れ

- ① 事前に**鶴岡市健康課**の窓口または電話で申込みをする
- ② 子宮がん(頸がん)検診受診券が発行される
- ③ 発行された受診券を持参し、医療機関を受診する

子宮がん検診の
対象は、
20歳以上の女性

受診券を使って検診を受けると・・・

検査費用 約 7,000 円



自己負担額 1,200円

(70歳以上は400円)

鶴岡市より

約 5,800 円

助成があります！

◎申込み・問い合わせ先 【市外局番 0235】 ※全て直通番号です

鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる 1階健康課 Tel35-0149

藤島庁舎市民福祉課 Tel64-5810

櫛引庁舎市民福祉課 Tel57-2116

羽黒庁舎市民福祉課 Tel26-8774

温海庁舎市民福祉課 Tel43-4613

朝日庁舎地域づくり推進課 Tel53-2115